

## 主要生命保険会社の令和6年3月期決算の概要

### 1. 損益の状況（単体）

- 保険料等収入は、国内金利の上昇により、一時払円建て保険の販売が増加したことなどから、前年に比べ増収。
- 当期純利益（純剰余）は、為替に係るヘッジコストが増加したものの、新型コロナウイルス感染症に係る給付金の支払減少等により基礎利益が増益になったことなどから、前年に比べ増益。

（単位：億円）

	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期	前年比
保険料等収入	278,688	324,047	365,908	41,861
基礎利益	39,220	27,400	37,316	9,916
キャピタル損益	7,731	▲457	▲2,292	▲1,834
臨時損益	▲15,688	▲2,750	▲4,978	▲2,228
特別損益	▲4,093	▲833	▲2,102	▲1,268
当期純利益（純剰余）	19,646	16,224	19,979	3,755

### 2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、株価上昇等により資産運用リスク相当額が増加したことなどから、前年度末に比べ11.2%ポイント低下。

（単位：%）

	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	992.4	942.0	930.8	▲11.2Pt

（注）日本生命、第一生命、明治安田生命、住友生命、太陽生命、大同生命、富国生命、大樹生命、朝日生命、ソニー生命、ジブラルタ生命、アクサ生命、アフラック生命、メットライフ生命、東京海上日動あんしん生命、第一フロンティア生命、三井住友海上プライマリー生命、プルデンシャル生命、三井住友海上あいおい生命、ニッセイ・ウェルス生命、かんぽ生命の21社を集計。